



# ファックス通信

2015年10月29日発行 臨時号

発行元 公益社団法人 日本理学療法士協会

(広報課) 電話 03(6804)1440/FAX03(3401)5961

## 一億活躍社会への提言を提出

10月27日、本会では標記の提言を厚生労働省へ提出しました。内容は以下の5点となっています。少子高齢社会を我々の理学療法によって、活力のある、そして生きがいの感じられる社会にして行きましょう。

今後これら提言を柱として、各方面に説明をしていきます。

- 1) 市町村での要介護認定率の改善目標の設定
- 2) 地域包括支援センターにおけるリハビリテーション相談機能の設置
- 3) 介護福祉士への実践を通したリハビリテーションに関する教育の徹底
- 4) 生産性革命の実現に向けた産業理学療法法の推進
- 5) 女性活躍社会実現のためのウィメンズヘルスの推進

## 第51回理学療法学術大会演題締切せまる

標記の学術大会は、来年札幌で開催されますが、演題締切が11月5日と迫っています。発表予定の方は準備をお急ぎください。また、多数の発表をお待ちしております。

## 交通人身事故への注意

この1か月で、理学療法士による交通死亡事故が3件立て続けに発生しています。運転には最大限の注意をお願いします。国家資格である理学療法士の場合、刑事責任(罰金・懲役等)・民事責任(被害者への金銭的賠償)に加えて、行政上の責任(免許資格に関する責任)も負わねばなりません。行政上の責任とは自動車運転免許の停止・取消しの他に理学療法士免許の取消し・名称使用の停止(使用制限)という形で現れます。医療職の場合、一般の国民より刑事、民事責任が重くなる場合があります。

万全の注意にもかかわらず、万が一、事故が発生した場合は、医療専門職としての責任ある行為が求められます。また、事故現場から少しの時間でも離れることはひき逃げ事案となることもありますので、車の運転に際しては非常時の心構えが必要です。

一瞬の油断が身を滅ぼします。

## 小川かつみ後援会 14万人を突破

日本理学療法士連盟によると、小川かつみ後援会で呼びかけた支持者および応援者が14万人を突破したとのことです。たった2週間で会員数の10万人を超える署名を集めたことは驚きです。連盟の活動に敬意を払うと共に協力をされた方々と喜びを分かち合いたいと思います。

なお、連盟の活動は緒に就いたばかりです。益々の活躍を期待します。

間違いFAXがありましたら、大変恐れ入りますが、上記TEL/FAXまでご連絡ください。FAX番号、

お宛名の変更は、代表者のマイページから施設情報をご変更いただくか、上記までご連絡ください。